

# たかさう 連携だより

2023年発行  
第201号  
10月号

## 診療科紹介

救急科 ..... 2

救急科部長 町田 浩志

## 病棟紹介

北4階病棟 ..... 3

北4階病棟看護師長 板倉 玲子

## 認知症ケアチームの活動

..... 4

神経内科部長 平柳 公利

緩和ケアニュース ..... 5

リハビリテーション室だより ..... 6

臨床検査科だより ..... 7

ほっとさろん・たかさき ..... 8

当院のSNSについて ..... 9

医師紹介コーナー ..... 10

地域医療連携登録医のご紹介 ..... 11

セカンドオピニオンのご案内 ..... 12~13

外来診療担当表 ..... 14~15

院長閑話 ..... 16

たいらっぴょうやま  
平標山

撮影：患者サポートセンター 後藤 雅美

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構  
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36  
代表 (TEL) 027-322-5901  
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)  
(TEL) 027-322-5835  
(FAX) 027-322-5925

### 【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

### 【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

### 【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

### 【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

# 診療科紹介

## 救急科

救急科部長 町田 浩志



24時間  
365日体制で  
患者さんの対応に  
あたっています

平素より当院の救急医療体制へのご理解ご支援に心より感謝いたします。

当院は人口約43万を抱える高崎安中医療圏の拠点病院であり、また西毛地区唯一の救命救急センターとして、全診療科が一丸となって24時間365日体制で救急搬送された患者さんや近隣の医療機関からご紹介いただいた患者さんの対応にあたっています。救急科は重症患者さんができるだけ安定した状態で各専門診療科の治療につなげられるよう、救急外来での初期対応や入院中の全身管理を行っています。また、救急事案の中で極めて重篤な患者さんに対して、救急車と同時に当科医師も現場に出動し病院到着前から治療を開始するドクターカーの運用（平日日中のみ）も行っています。

コロナ禍が始まった2020年度は救急車出動数の減少に伴い当院への救急車搬送も一時的に減りましたが、翌2021年度にはコロナ対応を継続したまま再び増加した救急患者さんにも積極的に対応し、県内で最も救急車を応需している救命救急センターとして今日に至っています。

### 参考 救急車応需数

2019年度  
**5,662件** (県内3位)



2022年度  
**6,175件** (県内1位)

とはいえ、当院救急科の医師数は昨年度が2人、今年度が4人と中毛・東毛地区と比べてまだまだ人手不足であり、すべての救急事案に対応しきれないもどかしさがありますが、1人でも多くの住民の皆さんの命と健康を守るためにこれからも日々努力していきますので、引き続きよろしく願いいたします。





# 病棟紹介

## 北4階病棟

北4階病棟看護師長 板倉 玲子

小児科(37床)・  
NICU(6床)・  
GCU(6床)の  
病棟です



北4階病棟は小児科(37床)・NICU(6床)・GCU(6床)の病棟です。

小児科病棟には慢性的に経過するアレルギーや気管支喘息、腎臓疾患、糖尿病の児をはじめ、RSなどの流行感染症の児も多く入院しています。患児は免疫力も弱いため、感染対策に力を入れ、感染拡大予防に努めています。慢性疾患の患児に対しては日常生活の管理が大切になるため、ご家族と児に対し内服や処置など生活リズムに合ったケアを提供できるよう多職種で取り組んでいます。季節ごとの飾りつけを行い、一緒に写真を撮りご家族に入院中の様子を伝えています。

NICUは「新生児特定集中治療室」といい、主に早産で呼吸障害や循環障害など生じている新生児を集中的に管理・治療しています。検査データやバイタルサイン等から全身を総合的にアセスメントして看護を行っています。看護師は新生児蘇生法のインストラクターを中心に、院内で講習会も開催しており、急な変化にも対応できる技術を習得しています。

GCUは「新生児回復室」といい、NICUで治療を受け、状態が安定してきた赤ちゃんのケアを引き続き行っています。GCUでは退院後の生活にも目を向け、ご両親が不安なく退院後の育児ができるよう信頼関係を築き育児支援に力を入れています。入院中にとどまらず退院後も外来で看護師が関わりを持ち、継続した看護を行っています。



また、NICU・GCUでは赤ちゃんの日々の成長や記念となる出来事の写真などを記したノートをご家族と交換することで、赤ちゃんの様子を伝え、ご家族の気持ちに寄り添い、精神的ケアにつなげています。

これからも地域の子どもたちやその子どもたちを取り巻く家族が安心して過ごすことができるよう専門的知識や技術を養い、継続的看護にも力をいれて取り組んでいきます。

# 認知症ケアチームの活動 について

神経内科部長 平柳 公利



多職種と連携し、  
適切なケアが  
提供できるよう  
尽力しています

当院の認知症ケアチームは2018年1月から活動を開始し、5年半ほど経過しました。日々の活動は認知症看護認定看護師を中心に、入院中の認知症を有する患者さんを巡回しています。対象患者さんの状態に応じ、心理療法士が認知機能評価を行い、その結果をもとに具体的なケアを検討し病棟看護師とともに実践しています。私は神経内科の所属ですが、認知症ケアチームの委員長として2021年度より参加させていただいております。週1回は病棟巡回に同行し、特に対応が難しい患者さんをピックアップして、主に薬物療法について提案させていただいております。

病棟の巡回をしていて気付くこととしては、入院を契機に初めて認知症を指摘される患者さんが多いということです。このような患者さんは、入院後にしばしばせん妄を合併しており、このために認知症ケアチームに介入依頼をいただくケースが多くございます。患者さんの背景は様々ですが、ご家族と同居していても、認知症の発症に気が付かれていないことが多い印象です。入院の契機となった疾患の治療が重要であることはもちろんですが、認知症の発見と適切なケア、治療を導入することも、退院後の患者さんが療養を行ってゆくうえで重要な課題です。

アルツハイマー型認知症の疾患修飾薬であるレカネマブが、2023年8月21日に本邦での製造販売承認を受け大きな話題となっております。画期的な薬剤であり、患者さんやご家族の期待も大きいことと思われませんが、治療の適応となる患者さんはごく少数に限られます。また、期待される治療効果も進行の抑制であり、根治的な治療ではありません。今後も新薬の開発は続く見込みですが、多くの認知症患者さんの治療では、非薬物療法＝ケアが重要であることに変わりはありません。認知症ケアチームでは多職種と連携し、患者さんへ適切なケアが提供できるよう引き続き尽力してまいります。



## 廃用症候群

# 緩和ケア ニュース

がん診療連携拠点病院 緩和ケアチーム

### 廃用症候群とは？

廃用症候群とは、過度に安静にすることや、活動性が低下したことによる身体に生じた様々な変化のことをいいます。

寝たきりが1週間続くことで10～15%の筋力低下が起こると言われています。

特にがん患者さんは、治療の副作用で活動性が低下し、廃用症候群に至る危険性が高まります。

#### たとえば

- 筋萎縮（筋肉がやせる）
- 関節拘縮（関節の動きが悪くなる）
- 心肺機能低下
- 起立性低血圧（急に起きあがったり、立ち上がるとめまいがする）
- うつ状態（精神的に落ち込む）
- 褥瘡（“床ずれ”と言われる皮膚の傷） など



### 廃用症候群を予防するには

『できるだけ体を動かすこと』です。

- **生活の中で寝たきりを作らない。**  
（日常の中で、座る、立つ、歩く、家事をするなどでも運動になります）
- **散歩、ラジオ体操、ストレッチなどを毎日の習慣に。**  
（いきなり30分！は大変なので、まずは10分！とコツコツと無理のない範囲から始めてみましょう）
- **安静にしている場合は…**  
→ 体位変換（体の向きを変えること）や簡単なマッサージ、両腕を持ち上げる（バンザイ）、膝を立てる、脚を持ち上げる、足の指を動かす、寝たまま足首を回すなど。



リハビリテーション科では、治療や病態に合わせて、患者さんご家族のQOL（生活の質）向上の一助として、リハビリテーションを提供しています。入院中のリハビリテーションをご希望の際は、主治医または担当看護師へご相談下さい。

# リハビリテーション室 だより

リハビリテーション科

## コロナ禍における からだの不調

新型コロナウイルス感染症の位置づけが2023年5月8日より、「2類相当」から「5類感染症」になりました。3年余りのコロナ禍で行動自粛や、睡眠・運動・身体活動の制限などで生活スタイルが変化した方が多いと思います。運動不足やストレスから心身に悪影響を来したものを健康二次被害といわれ、特に中高齢者は注意が必要です。

一般的に動かないでいると1日で3～5%の筋力低下が起こり、3～5週間で約50%に低下すると言われています。また、ある報告によると1日に11時間以上座っている人は4時間未満の人と比べ、死亡リスクが40%も高まると言われています（ちなみに日本人の座位時間は1日当たり7時間と世界最長だそうです）。

行動制限緩和に伴い各所様々なイベントが再開されはじめ、少しずつコロナ禍以前の生活に戻りつつあります。しかし、運動不足解消のためのいきなりの運動は体への負担が大きく、けがにつながる可能性もあるので注意が必要です。以下に生活の中で取り組みやすいものをご紹介します。ご自身の生活に取り入れ、心身の健康を守っていきましょう。

### 座っている時間を減らしましょう

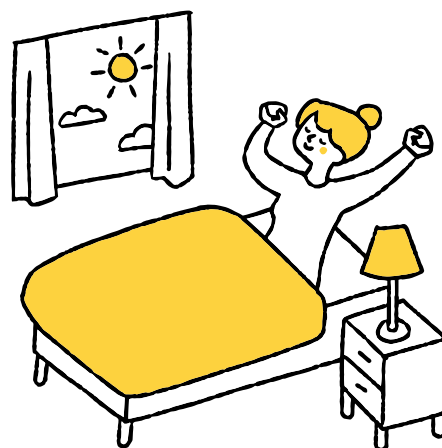
こまめに立ち上がる、家事を積極的に行う、階段の上り下りなどがおすすめです。

### 筋肉量を維持しましょう

ラジオ体操などのストレッチング、散歩などの有酸素運動、スクワットやかかと上げなど足腰の筋力を鍛える筋力トレーニングがおすすめです。

### 生活リズムを整えて、日の光を浴びましょう

日の光を浴びると幸せホルモンとも呼ばれるセロトニンという脳内伝達物質が分泌されます。セロトニンはリラックス効果やストレス解消、睡眠の質の向上、体内時計のリセットといった効果があります。







第76回  
臨床検査科だより



肺機能検査②

～ 努力性肺活量 (FVC) ～

今回も前回同様、肺機能検査についてです。手術前や呼吸が苦しい場合、疾患がないかどうかを調べるために行われます。気管支喘息や、タバコなどの影響による慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、肺泡と肺胞の間の部分 (間質部) に炎症が起こることで肺泡の壁が厚く硬くなっていく間質性肺炎など様々な疾患の鑑別や重症度の評価、治療効果の判断に利用します。

検査の種類として、①肺活量 (SVC)、②努力性肺活量 (FVC)、③最大努力換気量 (MVV)、④機能的残気量 (FRC)、⑤肺拡散能力 (DLCo) の5つの項目があります。

前回の肺活量 (SVC) と今回説明する努力性肺活量 (FVC) 2項目を行い、より詳しく調べる場合はその他3項目を行います。

今回は努力性肺活量 (FVC : Forced Vital Capacity) についてです。

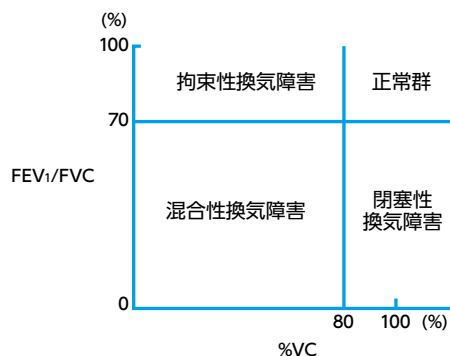
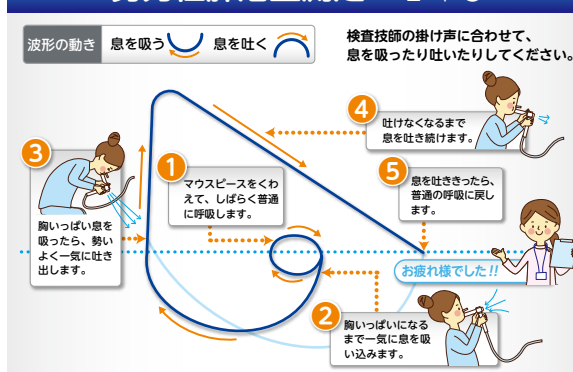
検査方法は鼻にクリップを止め、機械につながった筒をくわえて行います。

何回か普通の呼吸をした後、胸いっぱい一気に息を吸い込みます。

吸えなくなったら、勢いよく一気に吐けなくなるまで息を吐き続けます。

吐けなくなったら普通の呼吸に戻り検査終了です。

努力性肺活量測定 <FVC>



呼吸機能障害パターン

肺活量 (SVC) から求められる%VCと今回の努力性肺活量から求められる1秒率 (FEV1/FVC) の値から呼吸障害パターンを分類し、呼吸器疾患の診断や治療に役立てています。

基準値は年齢、性別、身長などにより異なります。  
※正常値 %肺活量 (%VC) 80%以上  
一秒率 (FEV1/FVC) 70%以上

この検査は受ける方の努力で結果が大きく変わってしまいます。大きく息を吸った後、一気に息を吐き、吐ききれなくなるまで数秒間にわたり息を吐き続けるため健常人でも大変苦しい検査ですが、精一杯頑張ってください!



次回は精密肺機能検査についてです。

がん患者さんやそのご家族の集いです

# ほっとサロン・たかさき



病気のことや  
日々の生活のことなど  
お話しませんか？

当センターでは、毎月1回がんサロンを開催しております  
がん患者さんやそのご家族に、ご自由に参加して頂いております  
事前の申し込みは必要ありません。皆様のご参加をお待ちしております

当日は、がんピアサポーター、高崎総合医療センターがん相談支援センターの看護師や  
ソーシャルワーカーも参加いたします。

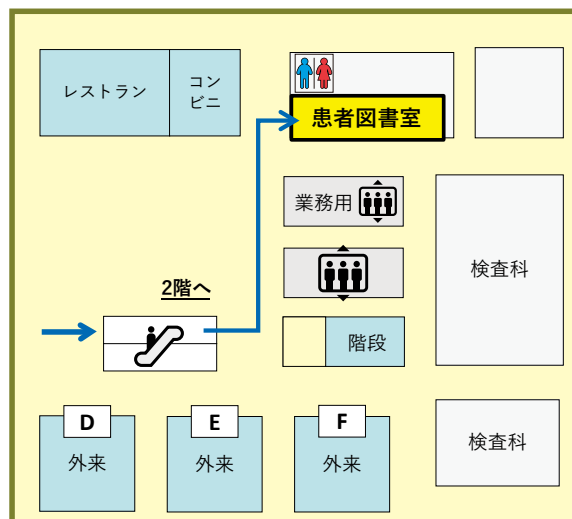
日程：2023年 6月23日（金） 7月28日（金） 8月25日（金）  
9月22日（金） 10月27日（金） 11月24日（金）  
12月22日（金）  
2024年 1月26日（金） 2月16日（金） 3月22日（金）

時間：13時30分～15時30分

場所：高崎総合医療センター2階 ほっとサロン（患者図書室）

- 当日は、各自水分補給のご準備をお願い致します。
- 当院の駐車場をご利用の場合は、無料になります。駐車券をご持参ください。
- ほっとサロン・たかさきについてのお問い合わせは、高崎総合医療センターがん相談支援センターまでお願い致します。
- 電話：027-322-5901(病院代表)

ほっとサロン・たかさき  
案内図





## 高崎総合医療センター 公式 Facebook



院内の様々な活動や情報、日々の出来事などを Facebookにて発信しています。



公式Facebookは  
こちらから



「いいね!」&フォロー  
宜しくお願いします!



公式Facebookページ  
「高崎総合医療センター」



フォローお願いします!  
**Instagram** 始めました

高崎総合医療センター



当院の産科を  
中心に  
投稿しています



NHOTAKASOU

# 医師紹介

当センターの医師を紹介します。



産婦人科

くろずみ みお  
**黒住 未央**

産婦人科医師の黒住未央です。生まれは伊勢崎、大学は秋田へと進学しました。海や雪、たくさんの美味しいものを満喫しましたが、太陽の光を求めて卒後は群馬へと戻ってきました。高崎は新人のときにも1年間お世話になりました。その後2人の娘をこの病院で出産させて頂き、縁あって2020年4月から再び赴任となりました。

当科は生殖医療以外の産婦人科分野をほぼ担っています。伊藤先生、青木先生を始め、婦人科腫瘍専門の先生方の元、悪性腫瘍手術、化学療法に日々邁進しています。また放射線科と併診させて頂き、子宮頸がんへの腔内照射が行うことができる県内3施設のうちの一つです。産科については小児科・NICUの協力の元、西毛地区から妊娠31週以降の母体搬送を積極的に受け入れております。異所性妊娠、卵巣腫瘍茎捻転などの産婦人科緊急疾患についても日々受け入れています。

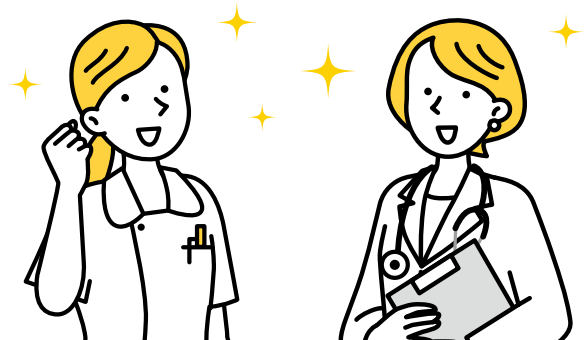
忙しい日々ですが、患者さんに最善を尽くせるようチームとして団結し治療にあたることができ、毎日が充実しております。産婦人科は特殊で、併設している病院も多くはありません。もし地域の先生方で産婦人科の病気で心配なことがあれば、小さなことでもぜひご紹介ください。

2023年8月から皮膚科に赴任しました岡田悦子です。2013年から2016年まで3年間勤務していたので、約8年ぶりに当院で診療することになります。気持ちを新たにして、地元高崎を中心とする地域医療に尽力するつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

皮膚科疾患は表面に出る症状が多く、患者さん本人、患者さんの家族、医療者など、多くの人が苦楽を共有しやすいことが皮膚科の特色です。患者さんを中心として、みんなで治療に向き合って、乗り越えていけるよう、サポートして参ります。

皮膚科

おかだ えつこ  
**岡田 悦子**



# 地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

## 乾小児科内科医院



### 院長あいさつ

幼少期より当院で勤務する両親の背中を見て育ち、医師を志しました。大学卒業後は内科医、循環器医、糖尿病医として経験を積み、2018年4月より当院で勤務させていただくこととなりました。

大学病院を中心とした循環器専門医の専門研修のなかで、急性期から慢性期まで幅広い患者さんの診療を行ってきました。また、内科医、小児科医としても研修を行い、子供から大人まで、内科全般だけでなく、循環器の専門領域に関して幅広い知識と数多くの臨床経験を持っています。

「皆様の気持ちに立って、わかりやすく、安心できる医療」を心がけ、今まで培ってきた臨床経験を生まれ育った地域の皆様のために活かしていきたいと考えております。わからないことがあれば何でもご相談ください。



乾小児科内科医院  
院長  
**乾 恵輔**  
副院長  
**乾 宏行**  
副院長  
**乾 裕美子**

### 診療科・病院案内

#### 内科・小児科・糖尿病内科・循環器内科・アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~13:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:00)	●	●	△	●	●	△	△

群馬県高崎市宮元町207  
TEL:027-322-3252 FAX:027-325-4675

当院は糖尿病専門医、循環器専門医、小児科専門医、アレルギー専門医、が所属し、高血圧症・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病から専門疾患まで幅広く診療しています。また患者様の話をよく聞いて、症状・検査結果など分かりやすく説明するように心がけています。今後も病院との連携に努め、皆様から頼って頂ける「かかりつけ医」を目指していききたいと思います。

## 菊池皮膚科

### 院長あいさつ

当院では、御来院いただく全ての皆様のご満足いただける医療を目指し、機能の効率化や医療・看護の質を向上させ、職員の意識改革に取り組んでおります。同時に、当医院では問診、診察に十分な時間をかけ、皆様とのコミュニケーションを心がけており、なんでも気軽にご相談いただける雰囲気づくりを目指しております。

今後とも皆様の健康管理を含めた医療の充実に取り組んで参りますので、何卒よろしくお願いたします。



菊池皮膚科  
院長  
**吉浜 美由喜**

### 診療科・病院案内

#### 皮膚科・泌尿器科・アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~13:00)	●	●	※	●	●	▲	△
午後(15:00~18:00)	●	●	△	●	●	▲	△

※水曜は休診が不定期になりますので、電話にて確認してください。  
また、当ホームページの「最新ニュース」にも掲載しております。

▲:土曜日は AM 9:00~12:00 PM 13:00~15:00  
群馬県高崎市柳川町9-3 TEL:027-323-1259

「菊池皮膚科」では、女医の院長をはじめ、全スタッフが地域の皆さまの健康を、皮膚科医療を通じて支えていきたいと考えております。

地域のかかりつけ皮膚科医として皆さまのお役に立てるよう、尽力して参ります。  
小さなお子さんからご高齢の患者さんまで、どうぞ安心してご来院ください。



# セカンドオピニオンのご案内

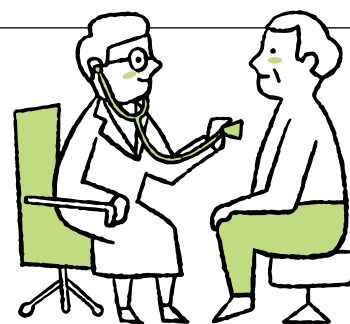
当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。  
概要につきましては以下のとおりです。

## 01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者がご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

## 02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、  
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、  
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、  
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



### 予約方法 ▶ **完全予約制 代表電話：027-322-5901**

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

**【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間**

※精神科の受付時間は **月曜～金曜 8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し  
当センターより連絡させていただきます

### 外来時間 ▶ **セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）**

**月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整**

### 費用 ▶ **30分以内 5,500円（消費税込み）**

**30分以上 11,000円（消費税込み）**

## セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

## セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

# 外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。  
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 植原 大介	(田村 耕成) 予約のみ	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正通 植原 大介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	倉林 理紗 (植原 正也)	植原 良太 倉林 理紗	渋沢 信行 午後	渋沢 信行 植原 良太
神経内科	椎名 葵 (池田 雅美) 午前	平柳 公利	平柳 公利 初診のみ 唐澤 将紀	柴田 真	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 (星野 裕紀) 午前	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 小林 頂	中川 純一 竹村 仁男	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 相原 幸祐 (石原 弘) (廣田 堇) 午後	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 相原 幸祐 午前	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 増田 智之 鍋木 琢也 (石原 弘) (小林 倫太郎) 午後	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 古市 望 午前	星野 崇 佐野 希望 田村 優樹 (小林 倫太郎) (廣田 堇) 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鍋木
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 村田 智行 瀬田 博貴 第1, 3週午前	石橋 洋平 高橋 伸弥 午前	広井 知歳 太田 昌樹 羽鳥 直樹 午前	福田 延昭 高橋 洋右 千吉 良彩花 第1, 3週午前 第2, 4週午前	太田 昌樹 小林 紘生 柴田 悟 午前
新患外来(午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	石橋 洋平
心不全予防外来		第2, 4週午後			
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 田口 未奈 前原 孝 (荒川 篤康) 午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 斎藤 淑人 (神尾 綾乃) 第4週午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己) <乳児健診> 午前	倉田 加奈子 植原 実紅 東野 允奎 (西澤 拓哉) (岩脇 史郎) 午後	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎 小笠原 聡 (浅見 雄司) 午後第1, 2, 4, 5週のみ 第3週午後のみ
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 齊藤 秀幸 午前：通常 / 午後：肝胆膵専門外来 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小川 哲史 星野 万里江 小川 哲史 午前	家田 敬輔 生方 泰成 午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来	平井 圭太郎 井田 晃頌 午前	宮前 洋平 齊藤 裕紀乃 午前
栄養サポート外来		小川 哲史 午後			
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅晴 栗原 聰太 午前	栗原 聰太 柴田 康博 午前	交代制	柴田 康博 井上 雅晴 午前	交代制

## 01 外来診療受付時間

8:30~11:00迄

(予約の場合は最終予約時間まで)  
※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

## 02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・  
連携センターから  
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、  
地域医療支援・連携センターを通した  
事前予約にご協力下さい。

令和5年10月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊恵子) 第1,3,5週午後 交代制 午前・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 第1,3,5週午前 成澤瑛理子 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 午後 角田彩 午後	中村英玄 午前 角田彩 午後	<手術日> 角田彩 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳 上原顕仁 午前 (井上千鶴) 午前	齋藤貴寛 岡田悦子 第2,4週午前 (石川真衣) 第1,3,5週午前	<手術日> 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	笹口修男 午前 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	佐藤晃之 午前 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前
産婦人科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 塚田蓉子 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
遺伝性腫瘍外来				伊藤郁朗	
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (大高建) 午前	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) 午前
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約 交代制	<手術日>
新患外来	田中斉 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	交代制	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

( )の医師は非常勤です。

### 03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

### 04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

# 院長閑話

vol.29

## 現代の縄文人を見た！

院長 小川 哲史



以前から縄文時代に興味がありましたが、特に数年前に山形県立博物館で、美しく気品があり国宝にも指定されている土偶「縄文の女神」を見てから、縄文時代の武骨なイメージが一変し、さらに興味がわきました。そして今年の夏、函館の学会からの帰りに、念願の青森県の三内丸山遺跡に行くことができました。

三内丸山遺跡は青森市郊外の緩やかな丘陵の先端部で、沖館川沿岸の標高約20メートルの海岸段丘上に位置しています。縄文時代は水産資源の豊富な陸奥湾を望み、後背地には落葉広葉樹の広大な森が広がっていました。遺跡からは膨大な量の土器や石器、狩猟に使う弓矢、魚介を獲るための釣り針や銚などの漁労具、そして当時の食生活など生活環境を伝える多種多様な魚骨や動物骨、クリやクルミなどの堅果類も出土しています。広い遺跡には、三内丸山遺跡の象徴ともなっている直径約1mの6本の巨大なクリの門柱からなる大型堀立柱建物跡や、長さ30mほどもある大型竪穴建物、たくさんの竪穴住居、さらに道路やゴミ捨て場としての谷などが計画的に配置されています。稲作が伝来する以前、食料を採集や漁労、狩猟によっていた縄文時代に、大規模な単位の「ムラ」で定住生活を営んでいたことに驚きます。当時の青森県がいかに食料に恵まれていたか、まさに「北のまほろば」です。ほかに漆の製品があり、そしてなんと糸魚川地方産出のヒスイの装飾品なども出土しています。

縄文時代の文化というと、土器や土偶などの奇抜な形状に目を奪われます。土器の中では特に新潟県の遺跡から出土した火焰型土器は、燃え上がる炎のような強烈な形状をしていて、私たち現代人の想像を超えた縄文人の感性、芸術性、創造力には驚くばかりで、岡本太郎の言うように、まさに「芸術は爆発だ!」と感じます。

また数知れないほど沢山の土偶、その形も様々で奇妙奇天烈摩訶不思議、特に目にあたる部分が遮光器(スノーゴーグル)のような遮光器土偶が広く知られています。土偶は大きな臀部、乳房、太ももなど女性をかたどっていて、「縄文の精神」を最もよく表しているとされ、祭祀や儀礼に使われたと考えられています。それにしてもあまりにも奇妙な容貌。なぜあそこまでデフォルメしたのか。まるで現代人が考える宇宙人のようです。

当時は現代とは比べられないほどの多産多死で、理不尽で無残な死は日常的で身近なものだったでしょう。平均寿命は30歳未満と言われ、また亡くなった嬰兒や子供たちを土器の中に入れて埋葬していましたが、彼らの死に対する考え方、死生観、その精神性はどのようなものだったのか。漆黒の暗闇と静寂のなか満天の夜空を見上げて、生きていることに対する深い感謝と限りない無常感、そしてその神秘性を土偶に込めたのでしょうか。それともまさか本物の宇宙人に遭遇したのか…

遮光器土偶は主に東北地方から出土していますが、北海道南部から関東から中部、更に近畿地方まで見られるそうです。定住することで社会全体に知恵や知識が蓄積され、さらに多くの人々が交流、交易したことによって、さらに発展したのでしょう。様々な努力と工夫を重ね、苦難を乗り越えてきた愛すべき縄文人に対して、畏敬や感謝の気持ちとともに深い慈しみの感情が湧いてきます。

縄文人は勇猛果敢で団結心があり、家族や仲間を守るため、だれもが努力を惜みず忍耐強かったでしょう。そして言語が未発達なため、口数少なく寡黙だったでしょう。そんな男たちの集団がいます。ラグビー日本代表の勇者たち、まさに現代に生きる縄文人ですね。なかでもリーチ・マイケルと堀江翔太。彼らはワールドカップが終わったら、間違いなく三内丸山の家に戻っていくと思います。

(9月20日)

## Information

行事などのお知らせ

### 第40回地域連携症例検討会

### 産婦人科領域疾患の診断と治療の連携

日時：2023年11月13日(月) 18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター

産婦人科部長 青木 宏

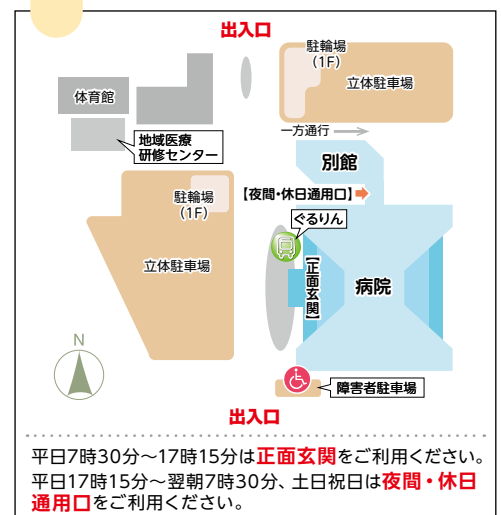
対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要



### 高崎総合医療センター案内図



平日7時30分~17時15分は正面玄関をご利用ください。  
平日17時15分~翌朝7時30分、土日祝日は夜間・休日通用口をご利用ください。

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。  
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター